

薩埵峠

標高244m 本州のど真ん中を歩く ● 約7km

薩埵峠をハイキング気分で歩くコースである。古来から交通の要衝として厳しい地形条件のなか人の知恵と努力が道をつくり、歴史がうまれました。東名高速道路、国道1号、JR東海道線が集中している景観も見事です。

- 旧東海道
- お勧め探訪コース
- 情報拠点
- 見どころ
- 案内板・説明板・マップ
- スタンプ設置場所
- 写真撮影ポイント
- 食べ処
- バス停
- 駐車場
- トイレ
- コンビニ
- 興津町の小さな博物館

0 250m 500m



薩埵山は古来、岩木(岩城、磐城)山と言われていましたが、文治元年(1185年)田子の浦で倉沢の漁師が石の地藏菩薩を引き上げ、それをこの山に祀ったことから名前がつきました。(菩薩のことを菩薩薩埵ともいいます)

伏見しょうゆ館

明治末創業の醤油製造会社。由緒正しい醤油づくりが見られます

岩城人形館

創業100余年の人形製造所。伝統的な駿河雛人形について学べます

①身延路道標・石塔寺

鎌倉期にはそのルートが開かれていたといわれ、戦国時代に駿河進攻をもくろむ武田信玄公により整備され、駿河と甲斐を結ぶ交易路でしたが、江戸時代初期には身延山久遠寺への信仰の道として確立されました。街道として最も賑わったのは幕府甲府勤番が設置された江戸時代中頃。



案内人や施設などの情報はここにアクセス!

H23.1月 静岡二峠六宿街道観光協議会

由比宿 広重のように東海道を歩く ● 約3.5km

蒲原駅から本陣公園、そして由比駅までのコースです。
東海道の雰囲気が残る町並みを天才浮世絵師の広重の
目でみると全てが絵の題材となる風景です

- 旧東海道
- お勧め探訪コース
- 情報拠点
- 見どころ
- 案内板・説明板・マップ
- スタンプ設置場所
- 写真撮影ポイント
- 食べ処(桜えび)
- バス停
- 駐車場
- トイレ
- コンビニ
- レンタサイクル

日本のアニメ文化の原点ここにあり!!?

海外に発信する日本をイメージする文化の一つにアニメがあり、外国の人が日本を知るきっかけとなっています。同じように広重の絵はゴッホをはじめ19世紀の芸術家たちに多大な影響を与えたといわれています。浮世絵は、どのような絵を描くかを定める「版元」、構図や絵を描く「絵師」、版を彫る「彫師」、色を付ける「摺師」の共同作業で作られており、これは現在のアニメ制作と似ていると思いませんか？日本にはそれぞれの分野のスペシャリストが協調しあって、より素晴らしいものを作り上げる文化があるのでしょうか。東海道広重美術館にいくとその醍醐味を体験できます。

■東海道広重美術館／開館時間：9:00～17:00 休館日：月曜日
料金：一般500円、大学高校生300円 中学生以下無料



① 榊形跡(東)

宿場の入口には、街道をカギの手に曲げて榊型にして万一の攻撃に備え、さらに木戸や土塁をつくり宿場入口のサインにもなっていました。

由比宿も東西の出入り口は榊型に折れており、現在もその面影が残されています。

② お七里飛脚の役所跡

西国の大名の中には、江戸の屋敷と領国の居城との連絡に直属の通信機関(七里飛脚)を持っていました。この役所跡は、紀州徳川家のもので、当時、江戸～和歌山間(584km)に約七里(28km)毎の宿場に中継ぎ役所を置き、主役(お七里役)と五人一組の飛脚(お七里衆)を配置していました。飛脚には剣道、弁舌にすぐれた者が選ばれ、昇り竜、下り竜の模様の伊達半天を着て「七里飛脚」の看板を持ち、腰に刀と十手を差し、御三家の威光を示しながら往来したようです。

普通便は毎月3回、江戸は五日、和歌山は十日に出発し、8日間、特急便は4日間で到着したそうです。

案内人や
施設などの
情報はここに
アクセス！

